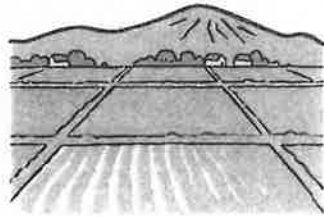


新富町コミュニティ・スクールについて

【第6次新富町長期総合計画基本構想（令和4年～令和13年）】

基本ビジョン：子や孫たちが帰ってきたくなるまちづくり
<input type="radio"/> すんでみたい <input type="radio"/> 住み続けたい <input type="radio"/> 住んでいて良かった <input type="radio"/> 卒業後や定年後には帰ってきたい <input type="radio"/> ここで子育てしたい
*第6次新富町長期総合計画基本構想から抜粋

【新富町コミュニティ・スクール】

ビジョン	地域とともにある学校づくり ～新富町を学びの黒板へ～
設置理由	<p>近年、学校と保護者や地域が連携・協働して社会に開かれた教育を行うためのコミュニティ・スクールが設置されるようになってきた。これは、保護者や地域住民が学校運営に参画し、一体となって、よりよい教育の実現に取り組むことを目的としている。本町はこれまで地域との繋がりは強く、地域資源を数多く教育プログラムに活用してきた。しかし、コロナ禍の中、地域との活動が制限されることにより最新の情報がなかったり、地域人材の高齢化が進み、新たな人材の発掘が必要になったりするなど、地域との繋がりを再構築する必要が出てきた。</p> <p>そこで、本年度、新富町コミュニティ・スクールを設置し、「地域とともにある学校づくり～新富町を学びの黒板へ～」をビジョンに掲げ、保護者や地域とともに育てたい子ども像や目指す学びを共有し、地域の資源や専門知識の教育プログラムへの活用、保護者や地域の学校教育への協力、学校や地域の課題への対応などについて、熟議し、実践していくこととした。このことは、本町教育目標「多様性を認め、創造する、自律した子どもの育成」の達成にもつながり、ひいては、子どもたちの郷土愛を育て、新富町基本ビジョンである「子や孫たちが帰ってきたくなるまちづくり」に寄与するものであると考える。</p>
学びの黒板 内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の資源や専門知識を学校の教育プログラムへ活用 ・人、自然、伝統・文化、各機関の専門性等 2 子どもたちの地域活動への参画 ・地域体験活動、地域行事への参加等 3 関係機関との連携 ・幼稚園・保育所、役場、警察等 4 保護者や地域の学校教育への協力 ・登下校の見守り、防犯、環境整備等 5 学校や地域の課題への対応 6 その他 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">*学校の実情に応じて熟議と実践</p>
学校運営協議 会委員の役割	<ol style="list-style-type: none"> 1 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること。 2 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べること。 3 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について教育委員会に意見を述べること。 <p style="margin-top: 10px;">*「教職員の任用」とは、学校教育の充実や課題解決を図るなどの観点から人材を求めることであり、特定の教職員の任用等に関するものではありません。</p>